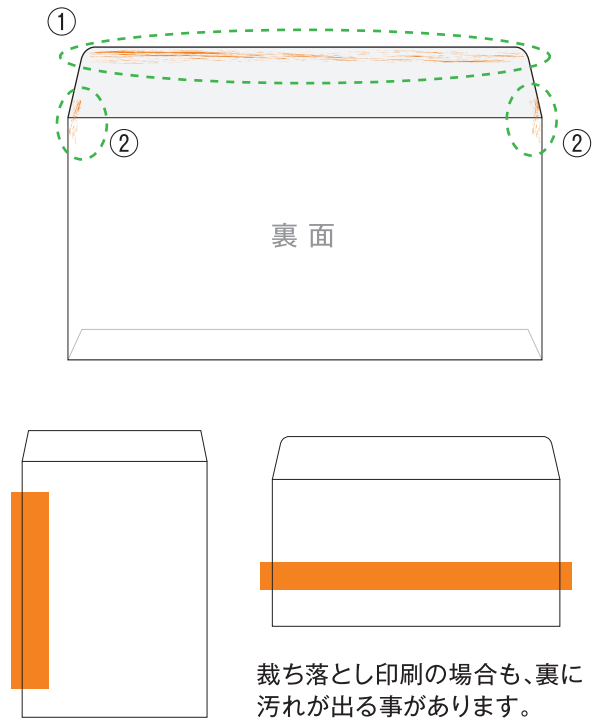


ベタ印刷時の注意点

1 ベロの裏側に汚れが出る

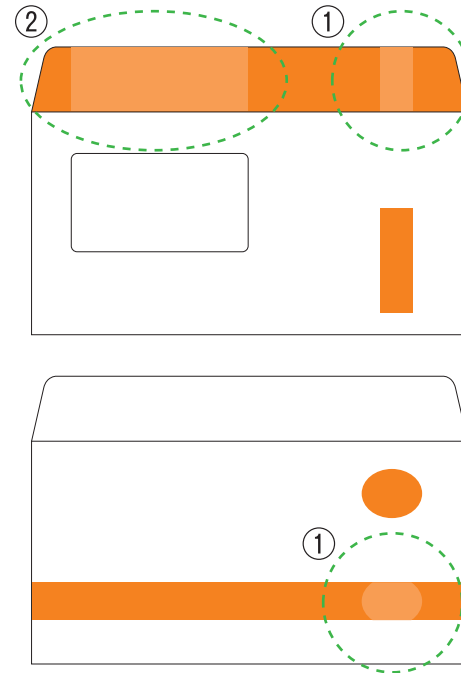
既製品へ印刷の為、ベロの裏側に必ず①のような汚れが出ます。②の位置にも汚れが出る事があります。※②の汚れが表面へ付着する事があります。



2 ゴースト現象※

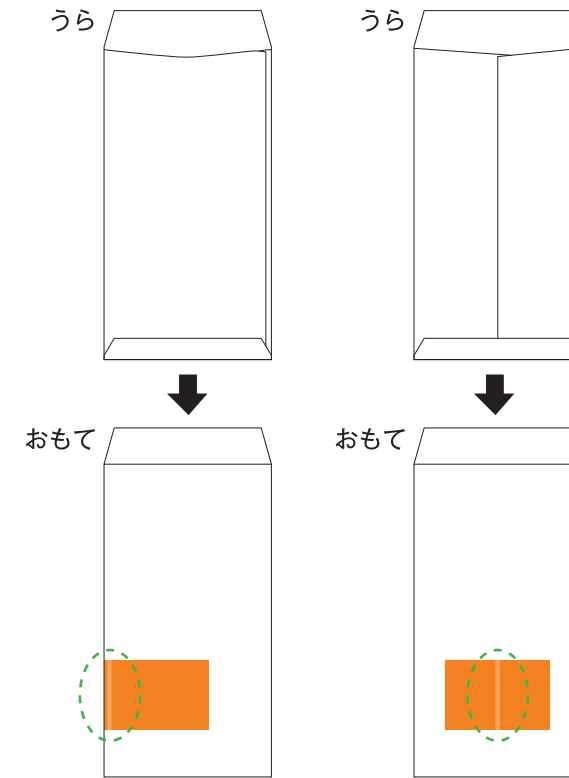
※ベタ刷りのときに出る色ムラで、ベロの手前部分でインキを消費してしまい、必要なインキ量が供給されずに起こる現象。

ベロベタ印刷の場合、ベロ以外の部分に面積の大きいベタがありますと①のように影が出たように薄くなってしまう。また、セロ窓が影響して②のように同様の現象が発生する可能性があります。



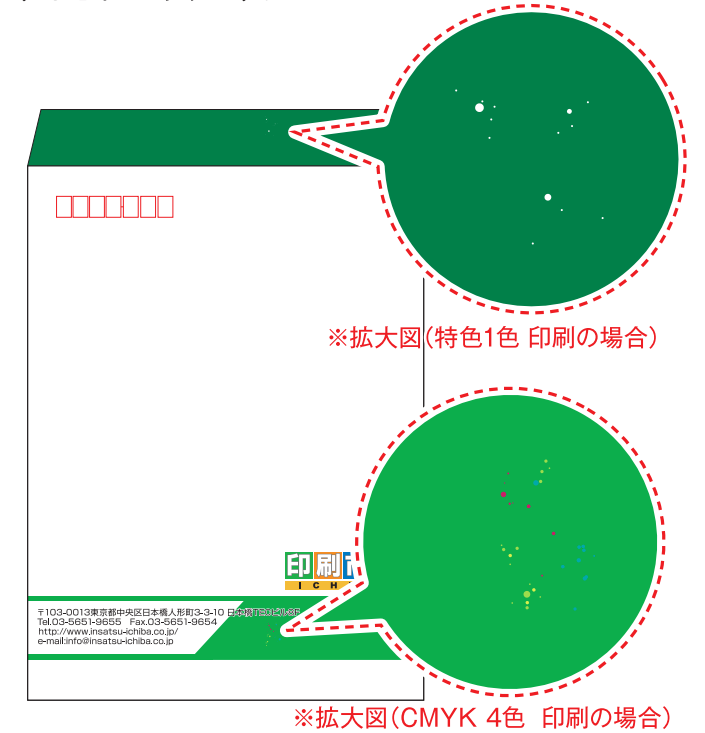
3 貼り合わせ部分の色ムラ

封筒の貼り合わせ部分は、紙の重なりによって厚みが変わり段差が生じる影響で、色ムラや濃淡、筋目が発生します。



4 ピンホール

ベタの強い（ベタの面積の多い）印刷の場合、印刷条件によって白抜け（ピンホール）が発生する恐れがあります。

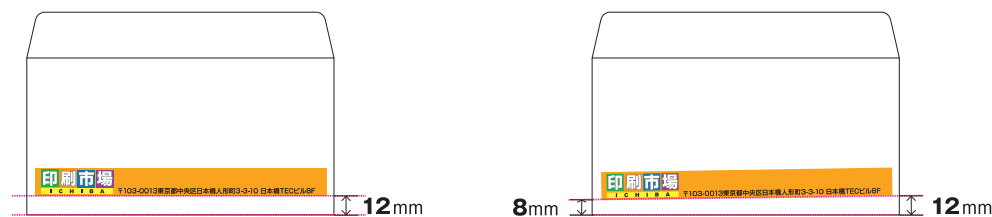


印刷仕上がり時の曲がり

封筒と平行に罫線や帯ベタなどを印刷、またはベロベタ印刷をした場合に、封筒の製袋精度の状況によって曲がりが発生する事があります。

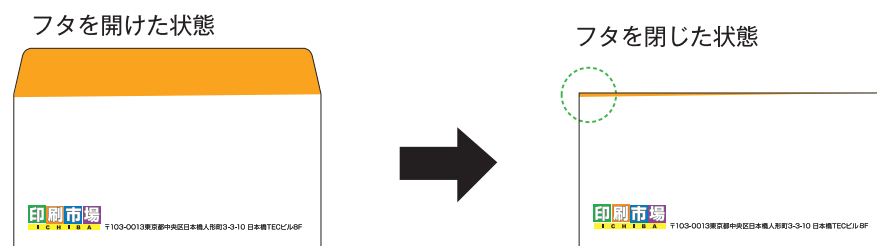
1 封筒と平行な罫線や帯ベタの場合

印刷仕上がり時の曲がりにより、左右のスペースが均等にならない場合があります。



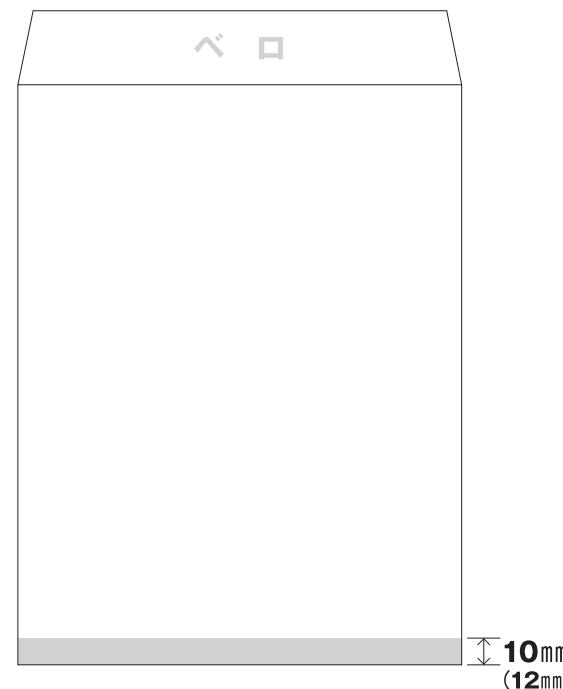
2 ベロベタの場合

印刷仕上がり時の曲がりにより、フタを閉じた際ベタ部分の曲がりが目立つ恐れがあります。



封筒印刷に必要な余白

和封筒の場合（タテ型封筒）



下から **10mm** の余白が必要
※ベロ印刷の場合は **12mm** 必要

洋封筒の場合（ヨコ型封筒）



※ベロ印刷の場合は下から **12mm** の余白が必要
洋封筒のベロベタ印刷は洋長3（縦120×横235mm）のみ対応可能となります。

掛け合わせの色ムラ

プロセス掛け合わせの特性上、色ムラが発生します。同一データで印刷を行った場合でも、わずかなインキの濃度差によって仕上がりの色味に違いが発生する事があります。

